

△産業宣教 なぜ逃れられないのか(出 3:18-20)	△伝道学 伝道の始まりは崩れた私を起こすことである(マタ 4:19)	△Remnant Day (核心) 1 月学院福音化一サミットタイム (Summit Time)															
福音を本当に理解する前までは、周りの人のために難しいと考えたと 90% 葛藤、10% 忍耐で生きようになる。福音を本当に悟れば、神様の計画が発見できると 90% 感謝、10% 申し訳ない中で生きようになる。この部分ができれば始まりが正確でないのだ。私たちの霊的知能は、小さい答えに喜んで小さい問題がくれば苦しがる霊的知能だ。 □序論_葛藤 (Conflict)、傷 (Scar) 刻印 1. 刻印 (Imprint) されたとおり答え (Answer) を受ける。 2. 根 (Root) がおりれば実 (Fruit) を結ぶ。 3. 体質 (Nature) は変えることはできない運命 (Destination) になる。 □本論_ In His Steps (「神様ならどのようにされるか」と質問しなさい) 「なぜ (Why)」 -なぜここ (葛藤、傷の刻印、根、体質) から抜け出すことができないのか 1. 答えられたこと (Answer) のため-答えの有無に基準を置いてはいけない。救いで感謝すべきだ。 1) 出 3:18-20 エジプトの奇跡のために興奮して血のいけにえを忘却 出 14:9-13 紅海が分かれたことで喜んで 2) ヨシ 3:1-13、6:1-20、10:10-14、14:6-15 多くのみわぎのゆえに 3) I サム 17:1-47 (ゴリヤテに勝ったこと)、ダニ 3:8-24 (バビロン王の前での勝利)、ダニ 6:10-20 (獅子の穴でも生き残ったこと)、マタ 8:17 (病気がいやされたこと) こういうことが答えだと思う。 2. 動機 (Motive) のために-ここから逃れれば神様のこと (神様の計画) を見るようになる。 1) 私 (Me) -私中心に説教を聞いて、私中心に考え、判断→サタンの攻撃対象 2) 私のこと (Mine) 3) 私たちの (We)、私たちのもの (Our) 3. 未来 (Future) に対する錯覚 1) マタ 24:1-14 最後の時わざわいー福音がすべてに宣べ伝えられてこそ終わりがくる。 2) II テモ 3:1-13 終わりのときは苦しみの時ー神様愛 x、自分だけ愛、サタンに捕えられたこと 3) 黙示 12:1-9 大きい混乱が来ること △ここで救われたというのは途方もないこと。それゆえ、いのちをかけて献身して、献金して福音を伝えること □結論_来年には本当のことをしよう 1. みことば (Words) -牧師とみことばを生かす方向 2. 現場 (Field) -重職者と現場を生かす方向 3. 次世代 (Next Generation) -Remnant と副教役者を生かさなければならぬ理由 △明日礼拝をささげに行くとき、なにも考えずに走って行くほどみことば握ってこそ時代を生かす。	□序論_来年の方向 1. 火曜集会ー新しく編集した教材を持って初めからのことを生かしながら未来のことを見ようとする。 2. 区域メッセージ三つの答え (牧師と講壇中心、重職者と現場中心、Remnant と世界・未来中心) 3. 2022 年主題ー24 (使 1:3 40 日間神の国のこと)、答えは 25 になること □本論_伝道の始まり 1. マタ 4:19 「わたしについてきなさい」 1) ついてきなさい (J-X) -イエス・キリストについて行きなさい。 2) 漁師 (神様から与えられたタラントをもってすること) 3) ガリラヤ (すべての人を生かすことができる所) 2. マタ 11:28-30 1) 疲れた重荷を解決してくれるのではなく「そのまま持つてきなさい」 2) わたしがあなたがたを休ませてあげます 3) 別のこと (やさしいこと) を与える。 3. マコ 3:13-15 1) お望みになる者を呼ばれた。 2) ともにいるために、また、伝道もしながら 3) 悪霊を追い出す権威ー全世界はここに捕えられているので、これを味わうことが伝道の始まり 4. ヨハ 19:30 「完了した」 1) のろい、わざわい、地獄の権威 (終わり) 2) すべての罰をみな解決ー信じなければならない 3) サタンの権威を完全に砕いてしまった。 5. 使 1:1-8 最後に完成されたみことば 1) Trinity -三位一体の神様の奥義 2) 御国 (こと)-神の国とそのこと 3) 力 (証人) -地の果てまで行くように力を与えて証人となること □結論_堅く握って行くこと三つ 1. 契約 2. 信仰 3. 未来	□序論_サミットタイム (Summit Time) <table border="1"> <tr> <th>朝 (Morning)</th><th>昼 (Day Time)</th><th>夜 (Night)</th></tr> <tr> <td>確認 (Check)</td><td>変える時間 (Change)</td><td>確定 (Confirm)</td></tr> <tr> <td>三位一体 (Trinity)</td><td>御座 (Throne 9)</td><td>3 時代 (Special, Disciple, Global)</td></tr> <tr> <td>考え (Think)</td><td>見ること (See)</td><td>整理 (Words)</td></tr> <tr> <td>5 力 (Power)</td><td>御国 (Kingdom of God)</td><td>いやし-力 (Healing-Summit)</td></tr> </table> 1. 朝ー重要なことを確認する時間。三位一体の神様が思い出すことに臨まれるように祈り→5 力 2. 昼ーすべての見ることを神様の考えに変える時間。このとき、御座の祝福 9 つがセッティングされる。すべての見ることを変えるとき、神の国とそのことの答えがくる。 3. 夜ーみな終わって一人でいるときに確定する時間。このとき、3 時代 (専門化、弟子化、世界化) が見える。みことばを整理するとき、すばらしいいやし、力が現れる。 △Breathing Prayer (呼吸する祈り) -脳をとて生かす祈りであってこそ、瞑想団体を生かすことができる。 □本論_サミットタイムになるようにフォーラムしなさい。すると、時間がたつほど神様の計画が見える。 1 Gen. 1:27 (創 1:27) 私たちの中に植えられた神のかたちを生かすこと RT7ー創 41:38 (ヨセフ)、出 3:1-20 (モーセ)、I サム 3:19 (サムエル)、I サム 16:13 (ダビデ)、II 列 2:9-11 (エリシャ)、ダニ 1:8-9 (ダニエル)、使 1:1、3、8 (初代教会) △フォーラムする時間、礼拝をささげるとき、創 1:27 が私に臨む時間だ 2 Gen. 37:1-11 (創 37:1-11) ヨセフがこれを幼いときにあらかじめ知ってあかしした CVDIPーみなさんの時に CVDIP を確定しなさい。担任牧師に尋ねれば良い 3 Ex. 2:1-10 (出 2:1-10) モーセはこの上 (サミットタイム) の祝福を幼いときに聞いた 福音 (Gospel) -幼いとき、完全に福音が刻印されたモーセー用いられるしかないタイムがくる。 4 Jos. 1:1-9 (ヨシ 1:1-9) ヨシュアはモーセを通して、この三つの祝福 (サミットタイム) を見た 1) Fear -「恐れてはならない」 2) WITH -「わたしがあなたとともにいる」 3) Moses -「モーセとともにいたように」わたしがあなたとともにいる 5 Jos. 2:1-16 (ヨシ 2:1-16) ラハブはうわさだけ聞いていたが働きが起きた。 1) うわさ (Good News) だけ聞いて悟ったラハブ 2) 重要な情報 (Information) を伝達したラハブ 3) マタ 1:1-17 イエス様の系図に入ったラハブ □結論_小さいこと (Small) を MASTERPIECE (作品) に作りなさい。 △文章だけ残してもかまわない。それを集めなさい。契約の中にいれば良い。	朝 (Morning)	昼 (Day Time)	夜 (Night)	確認 (Check)	変える時間 (Change)	確定 (Confirm)	三位一体 (Trinity)	御座 (Throne 9)	3 時代 (Special, Disciple, Global)	考え (Think)	見ること (See)	整理 (Words)	5 力 (Power)	御国 (Kingdom of God)	いやし-力 (Healing-Summit)
朝 (Morning)	昼 (Day Time)	夜 (Night)															
確認 (Check)	変える時間 (Change)	確定 (Confirm)															
三位一体 (Trinity)	御座 (Throne 9)	3 時代 (Special, Disciple, Global)															
考え (Think)	見ること (See)	整理 (Words)															
5 力 (Power)	御国 (Kingdom of God)	いやし-力 (Healing-Summit)															

聖日 1 部礼拝 正しい人はその信仰によって生きる (ハバ 2:1-4)	Remnant 礼拝 異なる力 (ゼカ 4:6)	聖日 2 部礼拝 /一般信徒宣教献身礼拝 建築献金の基準 (マラ 3:1-12)		
肉体の目、知識の目が暗くなるよりさらに恐ろしいのが霊的な目が暗くなること。霊的な目が暗くなれば完全に滅亡 □序論_礼拝をささげるたびに、この霊的な目を開いて、いつでも正確な答えを受けるべき。 今日、受ける答えは 237 か国を非対面で対面すること。これが分かなければ事業、学業、産業もこれから、門を閉めなければならず、宣教は不可能。それゆえ、今日の本文は 237 にならないイスラエルが 237 になったエジプトに攻撃された。さらに恐ろしいのはサタンが 237 をしている。それでエジプトを掌握して、エジプトは世界を捕らえた。ここにイスラエルが捕われて行ったこと □本論_時代におきることを見てメッセージを正確に握るべき。神様が私たちを見張り所に立ててみことばを与えられた(ハバ 2:1)。この目を開いて、どのようにこの問題を解決することができるのか。 1. 間違ったことから逃れて正確な契約を握りなさい。 1) 板に刻みなさいということは、永遠になくならない神様のみことばを私の心の板に刻みなさいということ 2) 237 をのがして、みことばと合わないで、ご飯も食べられない信徒とエジプトに苦しめられるイスラエルーそのようにしても、みことばは成就する。それゆえ、237 か国を生かす非対面を対面化することに答えを受けるべき 3) 本当に正確な契約を握れば道が開かれる。契約を握らないと開かないー各自、自分の考えが正しいと考える。しかし、神様の永遠のみことばだけが答え 2. 永遠のみことばが今日の答えになる、それが契約ー正しい人はその信仰によって生きる。 1) 暗やみから出て、この光の契約、福音を強く握りなさいという意味ーこれだけが 237 を生かすことができるのに 2) 正しい人というのは、福音を持った者、救われた者-ただキリストの他に他のもので家庭、次世代、産業を倒して、237 世界福音化を邪魔する暗やみの勢力を砕くことはできない。簡単な答えは光であればできる 3) 走って行きながらも読めるようにするということは、常に、いつでも見るようにしなさいということ 3. より重要なことは、過去から逃れて未来を握りなさい。それが待つということである 1) ハバ 2:4 引用したパウロ(ロマ 1:16-17) 2) 私たちの未来の保証は福音のいのちのみことば 3) ハバ 2:4 引用したマルティン・ルターー全世界の暗やみと霊的混乱が消え始めた □結論_ 237 非対面を対面化させる始まりが祈り。なぜか。 1. 私と産業と学業が神様が働かれるプラットフォーム(platform)となるため 2. 私の産業の中に 9 つの御座の祝福が Watch Tower として現れるため 3. 237 か国生かすアンテナ(antenna)になるため →これ以降に光の経済、光の学問が入ってき始める。この契約を強く握って 24、神殿建築 24 すべき	創 1:3、1:27、2:7、2:17-18、エゼ 37:1-10、ヨハ 20:22、使 1:3、使 1:8 使 1:8ーゼカ 4:6 □序論_バビロンで帰ってきたのに問題はずっとくる(1 次で帰ってきた人がゼカリヤ) 1. 理由を分からない人々-バビロンに行く前にも、出てきてもサタンの捕虜 2. 私もう分らない人々(創 3 章、6 章、11 章)ーサタンに捕えられた私だけ考えること、世の中の良いことがネフィリムに、成功しなければならないことがバベルの塔に 3. 世の中を分からない人々-世の中の中の国は暗やみの国になっている(ヨハ 8:44) △福音を伝えなければならない理由を分かるならば必ず答えがくる。イスラエルが苦しみの中にいたとき、神様から与えられたみことばは権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって」と言われる。 □本論_Remnant が受ける答え 1. 本来のことを回復しなさい(世の中と学校で教えられないこと) 1) 創 3:15 福音がサタンの権威を打ち破る奥義を知るべき 2) 創 6:14 わざわいで多くの人が死ぬとき、箱舟の中にいれば生きるということを知るべき 3) 創 12:1-3 「あなたは神様が示す地に行きなさい」(5 つの祝福回復) 4) 出 3:18-20 血のいけにえ「力ある御手であなたとともに」 5) イザヤ 7:14 インマヌエルの祝福を回復しなさい。福音回復 2. わざわい止めることを回復しなさい(7 わざわい陥ったとき Remnant だけができること) 1) 創 41:38 エジプトがわざわざいである時ヨセフは神の霊の宿る者 2) 出 5:1-12:46 エジプトの 10 の偶像のわざわざいを止める奇跡 3) I サム 3:1-18 幼い時この経験をしたサムエルはミツバ運動の答えを受けた。 4) I サム 16:13、23 ダビデが幼いとき、主の霊が激しく下って悪霊が追い出された。 5) II 列 2:9-11 理由を分かるエリシャが霊の二つの分け前を求めた。 6) ダニ 1:8-9 これを分かるダニエルは心を定めた。 7) 未来をおいてカルバリの丘、オリブ山、マルコの屋上の間をパウロが Remnant に伝達したとき、ローマが征服された。 3. 未来を回復しなさい。 1) 3 団体を通してネフィリム活動が次世代を掌握 2) 先進国のネフィリム文化が次世代掌握 3) ネフィリム時代-精神病、麻薬、個人主義の病気が来る □結論 1. 朝には思い出す全てのことに私に三位一体の神様の霊が臨むように 2. 昼には御座の祝福 9 つが私と世の中に臨むように 3. 夜にはみことばを整理および時代を生かす 3 段階が私に臨んで伝えられるように △このようにすれば、24、25、永遠という作品がくる。Remnant は Remnant タイムを持ちなさい。サミットタイムを持ちなさい。	1, 3, 8 3(三位一体神様), 9 セッティング、3 時代 14 集中 (使 2:1 5 つ時刻表) 24, 25, 永遠 △神殿建築が伝道、宣教の最も基本になる。ここで基準が何か。 光の経済 神殿経済 237、いやし、サミットの経済 □序論 1. 方向-祈る方向が重要 1) 偶像国家は神殿を作ってすべてのことをしている 2) 3 団体は神殿作って資料を配置する 3) 多民族をいやし、サミットとなるように準備することがまず最初 △237 か国が非対面なのに対面化する作業が最も鍵(key)だ。 2. 十分の一献金 1) 民 18:21 レビ族は主の働きだけをする。土地を与えない 2) 申 26:12 何の力もないやもめとみなしごを助けなさい。 3) 申 12:11、14:23 「主が、御名を住まわせるために選ぶ場所」すなわち、神殿に十分の一献金を出して世界を生かすように 3. 答えから与えられる理由 1) サタンはバベルの塔を作って世界を動かそうとしたが失敗 2) 暗やみの勢力は偶像神殿を作って全世界が観光している。 3) フリーメイソンは全世界のあちこちに神殿を作って人々を惑わしている。 □本論 1. 世界征服ーイスラエルは世界征服をどのようにしたのか 1) 礼拝ー神様の民が一番たくさんしたのが礼拝であるが知識世界を掌握した。 2) 献金ーユダヤ人が最もたくさんしたのが献金であるが経済を掌握した 3) 祈りーユダヤ人は祈りを一番たくさんする民であるが文化を掌握した。 2. 神殿建築-最高の宣教だ。 1) 幕屋ー神様はなぜ幕屋を準備させたのか 2) ダビデの神殿準備ー神様は最高に祈りをたくさんしたダビデに神殿準備をさせた。 3) 三つの庭ー異邦人の庭、祈りの庭、子どもたちの庭、この三つが 237、いやし、サミットだ。 3. 未来の基準ー 10 の 9 献金をささげる祝福を受けなければならない。 1) 使 2:43-45 初代教会は 10 の 9 献金をささげた。 2) 使 4:32-37 バルナバは自分の財産 10 の 9 献金をささげた。これが暗やみ経済を崩す 3) ロマ 16:3-4、23 プリスカ夫婦とガイオは 10 の 9 献金をささげた。 □結論_Remnant をどの程度、力を育てて送らなければならないのか △Remnant は 70 地域を掌握しなさい。Remnant の事業に 70 か所弟子をたてなければならない。 △ルカ 10:10-20、使 1:14、使 11:19		